

働き方ASU-NET

特別企画学習会

労働・市民運動の新たな方向を考える

■ 日時 2022年12月13日（火） 18:30～20:30

参加費無料

■ 講演 『中流が消えるアメリカ社会と
対抗する社会運動的労働運動』

ZOOM+リアル
開催

● 講師 伊藤大一さん（大阪経済大学）



■お申込み・お問い合わせ

参加は、Zoomリアルともに、QRコード（右）の読み取り、又は
URL (<https://forms.gle/dC5DCLRoYyxm94to9>) からお申込みをお願いします。

リアルは会場（関西合同法律事務所会議室）に定員があります。

お問い合わせは、NPO法人働き方ASU-NET（TEL：06-6809-4926）までお願いいたします。

■ 講師紹介



伊藤大一（いとう たいち）大阪経済大学准教授

・ブラック企業からネットカフェ難民まで、非正規雇用労働者やフリーター問題を研究。専門：社会政策。

・主な著書：『非正規雇用と労働運動－若年労働者の主体と抵抗』（法律文化社、2013年）。最近の論文：コミュニティ・オーガナイズングを用いた労働組合運動の活性化（労働総研クォーターリー 122号、2022年）

■ 講師から一言

大阪経済大学の伊藤大一です。私は2015-2016年にアメリカのカリフォルニア大学バークリー校に外留しておりました。研究のテーマはアメリカにおける社会運動的労働運動の調査です。日本もそうですが、アメリカでも労働運動は長期停滞傾向にあり、厳しい状況です。

そのなかでも、社会運動的労働運動の潮流に注目が集まっています。社会運動的労働運動とは直接行動主義をとおして、広く社会に問題の所在をアピールして、社会運動として問題を解決しようとする運動の潮流のことです。代表的には最低賃金15ドル運動や学校教員のストライキなどです。私の講演ではアメリカで調査した映像資料などを使用してアメリカ経済の実態について講演します。